

Alfresa Auto HTLase

血清中ホモシステインチオラクトナーゼ活性測定キット

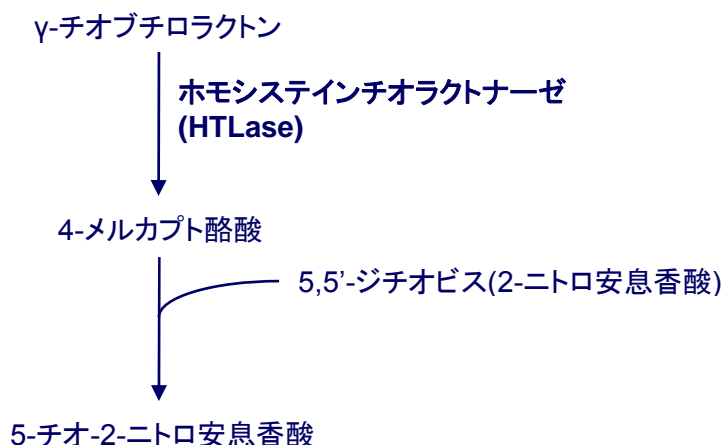
ホモシステインチオラクトナーゼ(Homocysteine Thiolactonase; HTLase)は、リジン残基を修飾して LDL 蛋白を変性させることから動脈硬化を促進させると考えられるホモシステインチオラクトンをホモシステインへと加水分解する酵素です。この酵素は、別名パラオキシナーゼとしても抗動脈硬化作用を有することが広く知られています。

Alfresa Auto HTLase は、血清中の HTLase 活性を測定する試薬キットです。

特徴

- 放射性基質を用いないため、安全で且つ操作が簡便です。
- 溶血、ビリルビン、乳ビ等の影響をほとんど受けません。
- 汎用の各種生化学用自動分析装置に適用できます。
- 検体前処理は必要ありません。

測定原理



試料中のホモシステインチオラクトナーゼ (HTLase)は、 γ -チオブチロラクトンを加水分解し、4-メルカプト酪酸を生成します。この4-メルカプト酪酸に5,5'-ジチオビス(2-ニトロ安息香酸)を作用させ、生じる5-チオ-2-ニトロ安息香酸の生成速度を測定することによりHTLase活性値を算出します。

キット構成及び包装単位

R1	60 mL × 2
R2A	15 mL × 2
R2B	0.35 mL × 1

貯蔵方法・有効期間

貯蔵方法: 2~8°C

有効期間: 1年

注意事項

本製品は研究用試薬です。体外診断用医薬品ではありませんので、臨床診断には使用しないで下さい。

参考文献

- 1) Kosaka T., Yamaguchi M., Motomura T., Mizuno K. Investigation of the relationship between atherosclerosis and paraoxonase or homocysteine thiolactonase activity in patients with type 2 diabetes mellitus using a commercially available assay. *Clin Chim Acta* 2005;**359**:156-62.

文献請求先

アルフレッサ ファーマ株式会社 診断薬推進部
〒540-8575 大阪府中央区石町二丁目2番9号
TEL 06-6941-0308